



しでがの通信

第116号

羽津小 P・T・A

編集発行

発行所 羽津小学校

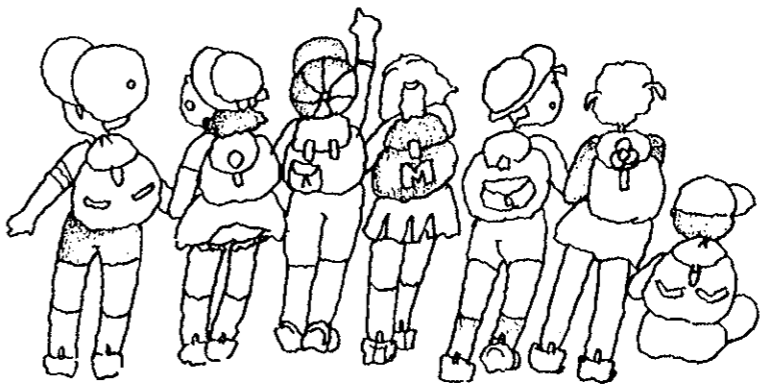
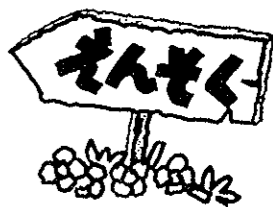
として保存して下さい


みんなで楽しく


おどれ


ポンポコリン

秋の大運動会	1
秋の遠足	2~3
校長先生を囲んで	4~5
先生の思い出エッセイ	6
ふれあい特集	7
各行事に参加して	8



一年一組 女子
 えんそくの日は、とてもよいお天きでした。おべんとうは、なかのいいおともだち八人で、しばふの上でたべました。まわりには、まつぼっくりやどんぐりがいっぱいおちていたのでパパとママとおねえちゃんに、おみやげに、ふくろいっぱいひろってかえりました。とてもたのしい一日でした。

一年二組 女子
 どんぐりのぼうしや、まつぼっくりをみつけました。まつぼっくりであそびました。みえ子ちゃんとも子ちゃんとわたしで、おかあさんごっこであそびました。わたしは、おかあさんになりました。みえ子ちゃんは、おねえさんになりました。とも子ちゃんは、子どもになりました。きみ子ちゃんは、あかちゃんになりました。

一年三組 女子
 わたしは、かすみりよくちこうえんへえんそくにいききました。ゆきこちゃんときちええちゃんといっしょにすわりました。せんせいたちと、へびちゃんけんや、ぼうしとりをしました。ぼうしとりは、とられないようににげるのにいっしょけんめいで、一つもとれませんでした。でもとてもおもしろかったです。

二年一組 男子
 はじめにドッチボールをしました。ぼくは、どきどきしてきました。男チームがかたないかなと、しんばいしていました。先生がフエをふくとたん、はじめました。ぼくは、がいやにいきました。ぼくがうけてあきちゃんをあてようとしたらあてられなかったです。ぼくは、くやしいとおもいました。

二年二組 女子
 十月二十三日に、わたしたちは一年生といっしょに、かすみのりよく地公園へ行きました。はじめにドッチボールをしました。二回せんともかったので、とてもうれしかったです。すこしあそんでからおべん当を食べました。とてもおいしかったです。そのあと虫とりにしました。「もうすこしあそんでいたいなあ。」と思いました。

二年三組 女子
 かくれんぼで、かかれたとき、わたしは、木の中へかれました。木の中は、えだやはっぱがいっぱいあって、いたかったです。でも、ずっとかくれていました。先生が、おわりのふえをならしました。わたしは、木から出てきました。出てきたら、ふくや、くつしたに、いっばい、ひつつき虫がつかまりました。

三年一組 女子
 私たち三、四年生の秋の遠足は湯の山のおたきに行きました。湯の山駅から、あおたきへの道は、少し遠くてえらかった。もう半分ぐらい来ると、みんな少し「つかれたあもうおべんとう食べたあ」と言っていました。目的地のおたきのたきはとてもきれいで、ずいぶん長く川が流れてた。楽しい遠足でした。

三年二組 女子
 あきの遠足は、あおたきにいきました。みんな「はあはあ」といながらのぼっていました。あおたきの道は、石や木などいろいろなので、道がゴツゴツしてました。タキからでている水をくんだり、のんだりしている子もいました。あきの遠足は、えらかったけど、たのしかったです。

三年三組 男子
 三年生、四年生は湯の山の蒼滝に行きました。みんなは「何時間ぐらいかかるの。」と言いました。先生は「一時間ぐらだね。」と言いました。みんなは、「えー」と言いました。でも蒼滝に行ったら三年も四年も楽しそうでした。滝の水は冷たくて手がこおりそうでした。楽しかったけど欠席の人がいて全員でなかったのが残念でした。

四年一組 女子
 私達は、三年生といっしょに湯の山のおたきに行きました。湯の山駅から坂道を登っていくと岩の上にはさるがいて、びっくりしました。あおたきは大きく水がすんでいてきれいなたきでした。そしてみんなでおべんとうを食べ、川のふちにあるたくさん石の上に乗って遊びました。あおたきの遠足はとても楽しかったです。

四年二組 女子
 おいしかったおべんとう
 あおたきに、秋の遠足へ行ききました。あおたきには、みごとなたきがあつて、まわりには、たくさん木があつてとてもきれいなところでした。おべんとうは、お母さんがいっしょけんめい作ってくれたのでおいしかったし、食べていると風がふいてきて、すずしくてきもちがよかったです。

四年三組 女子
 四年生は、湯の山のおたきへ行ききました。あおたきは、とてもすずしかったです。私は、あおたきの水をさわってみました。そしたらものすごく冷たく氷が50センチくらいあった冷たさでした。私は、わき水がみちにあつたので、とても感げきました。まだ私は、あおたきのことが、心に強く残っています。

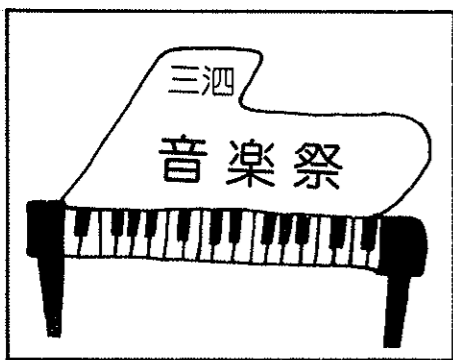
五年一組 女子
 遠足の前日に、先生から「晴れていたら富士山が見える。」と聞いていたので、期待して多度山に登った。とても急な坂でくねくね道だった。頂上について景色を見ると、かすんでいて富士山が見えなかった。で、私は晴れていたらこんなふうに見えるだろうと頭の中に描いてみた。帰り道には、遠足に行けなかった友達に木の葉などをとって帰った。

五年二組 男子
 ぼくたち五、六年生は、10月23日に多度山頂に登りました。ぼくたちは、既に行動することになっていました。最初はみんながんばっていましたが、登っていくにつれてだんだん元気がなくなりました。それで男子が女子の水筒をもったりしたけど、女子の一人が「気持ち悪い。」といい、山道をかけのぼり先生を見つと一緒に歩くことになり、一安心して登りました。

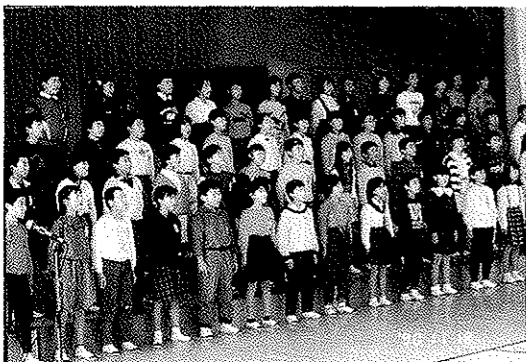
五年三組 女子
 わたしは、みんなといっしょにいっしょうけんめいのぼった山道が思い出になりました。なぜ思い出になったかという、すごくえらかったこともあるけれど、みんなと協力できたことも思い出になりました。協力しあっていると、心がうじてくるみたいだからです。

六年一組 女子
 「今度は、一番のりしようよ。」と私は言った。でも、既に行動しなければならぬ。一人だけ早く行ってもだめなのでみんなで最後に行くことにした。歌を歌ったり、景色を見たり、地層を探ったりした。途中、先生と合流し、大きな声で歌を歌った。やっぱこれが遠足だなあと思った。

六年二組 男子
 始めのうちは、みんな元気に笑いながら登っていた。しかし、半分を過ぎると、みんなの顔がくもってきた。そしてどしゃぶりになつた。でも頂上が見えるとみんなとぼくの顔は、晴れてきた。頂上でいろいろ遊んだ。とてもえらくて、とても楽しい遠足だった。



流れるハイモニーに 親もウットリ



座談会

校長先生とPTA会長を囲んで

去る11月13日、広報部の企画で校長先生、PTA会長を囲んで、座談会が行なわれました。座談会の内容は、本年度の各行事の反省点や、学校に対する意見などを、卒直に出していただきました。

最近の羽津小学校の現状は、非行や登校拒否など大きな問題はありませんが、現代の子供たちは、親子のかかわりが満たされていないのか、心の病が増加してきているそうです。

今、学校行事もほぼ終了し、反省すべき点など皆様方から、御意見を伺いたい。広報 本年度から、学級委員の選出方法が、前もって五人選出して話し合いの上で、二名決めていただきましたが、選出方法はどうか……？

P 本年度の選出方法は、良かったと思うが、欠席者の了解なしで決められた所もある。それは良くない、常任委員会などに、出席し

てよくわかったが、一人でも多くの人が、学校に携わってほしい。P 一年生から六年生の間に一回は、何らかの形で、学校に携わっていただきたいですね。世帯数の多い町などは、高学年にならないと、学校行事がさっぱりわからな

いと言う人も多いようです。P 「学級委員に選ばれましたがどうでしょうか？」ではなく、「委員に決まりましたので、お願いします」と、一方的にお願いする方が良いのでは……。

P 子供に親の出席を呼びかける方が、委員さんからのまれるより、残してくれるのでは……。P もう少し皆様の方で、学校や子供に関心をもっていただき、学校行事に大勢の方が携わってほしいと思います。

今回、学年代表の方々に参加して頂き、校長先生を囲んで色々な問題点を話し合っていました。校長先生や会長に自分達の色々な面からの意見などを卒直に出していただきたいへん参考になりました。又、座談会で出された質問や要望は来年にむけて少しでも改善されていく様努力していただきますと思います。本当に皆様お忙しい中ありがとうございます。

P 先生が電話をして来ていただくより、同じ立場のお母さんからのまれた方が、断りにくかったです。委員さんの適合、不適合はなく、条件は、皆さん同じではないでしょうか……。

P クラスで決める時に、一年生の場合などは、上級生の子供がいるからという事で選ばれてしま

う。又或る人は、専業主婦で家にいるからという事で決まった。P 皆、子供や学校が良くな

って欲しいと言う事を思っているのに委員の選出は、たらいまわしにしているのが現状の様ですね。

P 学年行事の内容などは、マンネリ化しているようですが……

少しかけていた座談会とは、かけはなれていたけれど、みなさんが色々な考えを持ってみえる事がわかった。

有意義な時間でした。

自分の考えと、正反対の意見も聞けよかったです。

考えてもいない事が次々と出てくるので、みんな子供の事に強く関心を持っているのが判った。



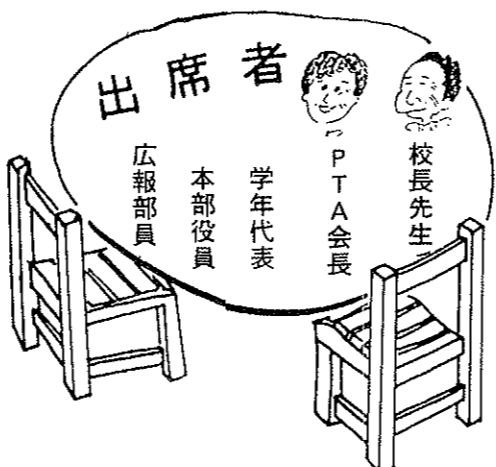
学年行事の内容としては欲しいと思います。六年生の場合最後の学年と言う事で記念に残る(紙粘土の絵皿作り)は良いのですが、未完成のまま終了、後は先生まかせという問題点などもあり今後は、短時間で何が出来るかなど各学年で工夫して、学年学級部で考え直してほしいと思います。

学年行事は、父兄の出席率も高く、唯一父兄と先生、児童とのふれあいにかかせない場であり、身体を動かすのに良い機会でもあると思います。

先生によっては、学年行事は委員さんの方で用意して下さいと言われますが、どの辺までしたら良いのかよくわからなかった。

先生方が、強引にPTA行事を引っぱっていかないように注意はしていますが、PTAの参加を嫌がっているわけではありません。

親と教師が一つの行事を計画してすすめていくのがより良いのではないのでしょうか。



先生方の中には、積極的に、行事を盛り上げて下さる方もいれば、父兄の方に、全面的にまかせる先生も見えるが出来る事なら統一してほしい。



真剣な話し合い



先生の思い出エッセイ

先生方の幼い頃の写真

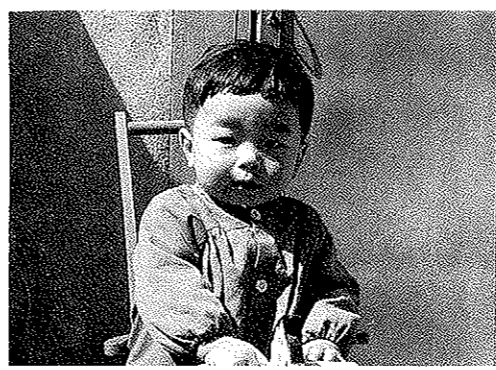
今もよみがえる
思い出

川辺雅史

幼い頃の思い出は？とたずねられると、私は二つの思い出が今でもつい昨日のことのようによみがえってきます。

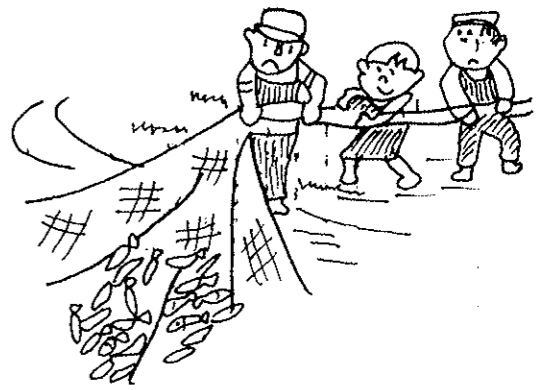
一つは、トンボとりのことです。私は幼稚園のころから虫とり、特にトンボとりが大好きでした。夏休みになると、朝9時ごろから、麦わらぼうしをかぶり、たもを片手に近くの池へ出かけて毎日のようにトンボとりをしたものです。昼ごはんを食べるのも忘れて夕方暗くなるまでしていたことも何度かあります。つかまえたトンボを片手の指と指の間にはさんで得意気になっていたことを思い出します。

もう一つは、野球の事です。私が野球と出会ったのは確か小学校に入学してからだと思います。父によくキャッチボールをしてもらい、十回に二回うけられるのが



おもかげは……

やっとならした。本格的に始めたのは三年生になって、少年野球団に入団してからです。その頃は、王選手や長島選手にあこがれ、野球に熱中しました。友達どうし集まると、よく原っぱに行つて野球やソフトボールをしたものです。卒業時の将来の夢にはプロ野球の選手と書き、その夢をずっと追い続けたことも今は良き思い出です。



私の子供の時代

生川茂子

風光明媚な半農半漁の村に生まれました。春には、小川のせせらぎでメダカやフナをとったり、れんげ草のたくさん咲きほこっている上でねころんだり、首かざりを作ったりして遊んだものです。

夏には、海水浴や波にのまれないように貝ほりをしました。秋には、遠浅の海で漁師さん達が地びき網で魚を取る網の中の魚をたぐりよせたり、こぼれ落ちる魚を拾ったり、網でたたかれながらも下にもぐって取ったりして、ものすごいスリルを味わったもので

す。また、夕日が沈むまで、砂の上を走ったり、ころんだり、砂山を作ったり、字を書いては波で消えて行くのを喜んだものです。冬には、伊勢大根のハサの上をかけまわって、大根を折ったりしてどじかられたな。北風の吹く寒い日には、海苔を取るためにそだの葉っぱをむいたり、海苔を積むお手伝いをしました。

このように四季折々の風情を身体いっぱい吸収して子ども時代を過ごしたのがつい昨日のようになつかしく思い出されます。

私には、こんな故郷のすばらしい思い出があります。みなさんも故郷を大切に、いい思い出をいっぱい作って下さいね。



右側が生川先生

「牛乳」

母：「今日は、パンだけ何か飲みたい？」

子：「牛乳!! だつて大きくなりましたもん」

母：「朝食どき」

「学校にて？」

子：「学校へ行くの毎日楽しくっておもしろいわ。」

友達：「そんなもん、五年も行ったらつまらんわ。」

子：「(不思議そうな顔)」

「成 長」

母：「さあ、お母さんと競争してどっちが早くねるかな。今日は何のお話しようかなあ。」

子：「お母さん、もうあっちへ行ってもいいよ。一人でねるから。」

母：「(なんと、淋しいこと……)」

「朝、パジャマを脱いで……」

父：「早く片づけなさい。」

子：「うん。」

母：「早くしなさいよ。」

子：「お父さんはずるいな。だつて、自分で片づけへんやもん。」

「席がえ」

母：「黒板の字、見える？」

子：「うん。でも先生の顔がちよびっとしか見えやん。」

母：「なんぞ？」

子：「前の子が大きいで。」

母：「ふーん。頭が大きいんだね。」

子：「ううん。背が高いの。」笑い……

「おこられた」

母：「もう言うことがきけないならでていきなさい。」

子：「じゃ、お母さんもでていったら。」

母：「ん……………」

「プレゼント」

子：「ぼくお母さんの誕生日に、ぼくの一番大きいお金で車を買ったわ。」

母：「(貯金の事です。)」

母：「ぼくのお金では車はちよつと買えないよ。」

子：「そしたらぼくが大きくなって社長さんになったら、いっぱいお金をためて大きい車を買ったわな。」

「恥かし」

(兄が買い物のショッピングカートに立って乗っていて)

妹(3才)：「恥かし一年生にもなって、そんなにに乗って。」

兄：「(だまっておりた)」

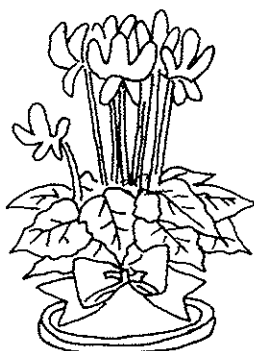
母と女教師の語る会

あなたは素直に
子供に話せますか

『子育ての一つ』

長瀬 陽子

子育てに何かと焦りを感じながら、毎日が過ぎる中で、私は、「母と女教師の語る会」に参加してみました。性教育に関する内容は、子育ての中で、大切な事だと日頃思っていたからです。子供が成長するに従って、私を「ドキッ」とさせるような質問をするときがあります。その度に、私なりの考えで正直に受け答えてきましたが、この会で、ビデオを見たり、先生や他の方々のお話を、聞かせていただき大変参考になりました。同時に、私自身ももっと勉強をしなければいけない事が多く有り、反省させられました。それに、我家では、父親もいろいろな点で、分担してもらいながら、家族が話し合い、行動することで、少しでも子供が、正しい知識を身につけてほしいと思いました。



研修旅行に参加して

深谷よう子

今年で私にとって最後の研修旅行になりました。今までにいろんな所へ参加させていただきましたが、雨の旅行は初めてです。いやだなあと思いつつ集合場所へ、出発してしまえば、雨なんかなんのその、みえこどもの城へ。ここでは、スペースシアターにて全天周映像によるコンピュータグラフィックと、秋の星座のプラネタリウム、「冒険王ベルセウス」、中でも、「ザ・マジック・エッグ」この映像は、立体的になっており自分がその気になって動いているような体験が出来ました。この公園は、芝生になっていてとてもいい所です。斎宮歴史博物館、ここでは映像展示、発掘した陶器や、土器などが展示されています。全ての所を見るには、時間がたりなくて残念でした。又、機会があれば家族で行きたいと思っています。楽しい旅行を、ありがとうございます。

夏の行事

おつかれさまでした。

7月19日

四日市北消防署職員の方によるプール救助の講習会が開かれました。マウスツーマウスの徹底指導は、皆さん真剣に聞き入っていました。



8月19日

環境整備部、父兄による全員奉仕作業をしました。

